

ちょっとひと言!!

市民の声

広報委員が市民の皆さんに、
行方市に寄せる思いをイン
タビューしました。



● 議会だよりの、特に一般質問のコーナーに関心をもって読んでいます。質問者に注目すると同一議員が何回も登場している。24号から27号では、連続4回が5人、3回が3人、1回が6人、0回が6人。市政に対するチェックと提言の観点から、議員全員の積極的な熱い質問が望まれる。その契機になればと思います、次の提案をする。現在、任期中の各議員の質問回数及び主な内容を任期最後の議会までに集約し、一覧表にして議会だよりに掲載する。

(60代・男性)

● 麻生中学校のスクールバスと通学路について、もっと生徒に配慮して欲しいです。
例えば、朝の部活道のための通学バスの増便、停留所まで自転車通学の許可、通学路に電灯を設置するなどです。

小牧地区の停留所を2箇所を増やして雨よけを付けて下さい。それから、県道水戸神栖線には横断歩道の接置が必要だと思いません。

以上の件について、検討をお願いします。

(40代・女性)

● この頃めっきり家の前の道路を通学する小中学生が少なくなつてしまいました。本当に淋しい限りです。私達の頃は、通学時間になると列が延々と繋がったものでした。
日本全国どこでも少子化の渦の中にありますが、行方市の良い所をアピールして多くの人に住んでもらいましょう。行方市には大雪や大きな災害もありません。空気も澄み切って、食べ物も最高です。行方市の未来は子供が増えることだと思います。

(60代・男性)

● 以前、小学校の親子給食参観に参加した時、子供の同級生のお母さんが話していました。
「今の給食はおいしくない。給食関係者からの評判も良くないらしい。」と言う内容でした。

参観日に食べた給食も、お世辞にもおいしいとは言えず児童・生徒たちの多くは残しているようでした。
給食は子ども達にとつて楽しい時間のはずです。どうか「給食はおいしい。大好き。」と笑顔がこぼれるような給食を作ってください。お願いします。

(40代・女性)

● 先日、報道で九州地方の豪雨の被害を特集していました。近年、異常気象が続いています。行方市では、災害に対する備えがしてあるのでしょうか。物資の種類や量も大切ですが、どの施設に何があるのか住民に周知されているのでしょうか。

災害が起これば、情報も不足し物資の受け渡しも困難になります。例えば、「どの施設に必要なものが準備してあるか」をチラシなどでお知らせするのも一つの方法だと思います。

(30代・女性)

編集後記

今年オリンピックキイヤー。毎晩、日本の選手の活躍を期待しテレビの前で応援しています。特に水泳や体操・柔道などの競技は金メダルが期待されます。また、茨城県出身や係わりのある選手にはさらに力が入ります。

一〇〇年前の一九一二年、スウェーデン・ストックホルム大会に陸上競技の男子選手二名が日本人として初めて参加しました。同時に嘉納治五郎氏も派遣団長として参加をしています。嘉納氏は講道館柔道の創始者であり日本でスポーツの道を開き、世界中に柔道の普及と日本にオリンピック招致に力を注いだ方です。さらに、嘉納氏は教育者であり、柔道精神の一つに「精力善用」を唱えています。この意味は、「心身のもつすべての力を最大限に生かして社会のため、善い方向に用いること」を示しています。

第2回定例会は条例改正を中心に審議がされました。議会としましても皆様のご意見を拝聴し善い行方市になるように努力してまいります。

(鈴木周也)

広報委員会

委員長 高橋正信
副委員長 栗原 繁

委員 大原功坪 小林 久
鈴木 裕 鈴木周也